

「中核市めざす」

明石市長が表明

改正案、衆院可決で

明石市の泉房穂市長は28日、「中核市への移行をめざす」と表明した。中核市の条件を人口「30万以上」から「20万以上」とする地方自治法の一部改正案が25日に衆院で可決され、参院に送られたことを受けた。

明石市の人口は約29万人(4月1日現在)。中核市に移行すると、保健福祉や都市計画、環境行政などで、県が持つ権限が移譲される。保健所を独自に持つことができ、新型インフルエンザ対策などこれまで県と分担していた業務を一体化し、住民サービスが充実するといふ。

泉市長は、この日の会見

で「中核市化は選挙公約のひとつでもあり、速やかな移行に向け、本格検討を始める」と話した。

(高松浩志)